

職員による自己評価

A環境面

66%

バリアフリーでないことから

B児童への支援内容

100%

C関係機関との連携

70%

D保護者への説明責任・信頼関係

75%

父母の会がないことから

E非常対応

83%

保護者による評価

A環境面

82%が満足

バリアフリーでないことから

B児童への支援内容

66%が満足

他の子供（外部）との接点がないことから

C事業所からの情報発信

86%

父母の会がないことから

D非常対応

84%が満足

事業所内での分析

【共通点】

ソフト面からハード面まで支援というサポートに関して、満足して頂けるという点で一致している。

【相違点】

特になし

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・個々に合わせた支援内容を実践できるところ。
- ・平日でも外活動を必ず入れてメリハリのある行程で活動しているところ。
- ・課題、宿題ともにマンツーマンでスタッフがサポートを行うことで出来ない→出来るに成長していく事が多いところ。

事業所の改善点

- ・あまりに担当制になっていないか気をつけていく点。

事業所の改善への取り組み

- ・今後、機会があればペアレント・トレーニング等の研修に参加してみたいと思う。
(今は人員が欠けてしまうので出来ていない為)
- ・毎回、同じスタッフが対応するばかりではなく、チームを変えて活動を行う等利用者にもスタッフにも良い経験となる様に工程を組み換えてみる。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

常に利用者のことや、その取り巻く環境を注意深く観察する必要があると思った。
そうすることで工程や課題、又はお家での過ごし、学校の対応等・現状の利用者にとって必要なものが見えて、少しでも生きやすい過ごしの提案ができるのではと思う。

事業所名 キッズタウンかじやま

担当者 安井 優子